

ようこそ 昆虫ワールドへ

創作活動との接続による
環境学習



足立区立北鹿浜小学校
前副校長 新井雅晶

ESDの視点から環境学習を行うポイント

- ① 自然との触れ合いと育む感性
- ② 人と自然との関係に着目
- ③ 自然を守る行動意欲

自然体験活動



学びの統合

指導計画(ESDカレンダー略図)

対 象 : 第3学年
 児童数 : 24名
 年間時数 : 70時間

	5～6月	9月	11月	1月	2月
国語			パンフレット作り	発表会をしよう	
理科	チョウの学習				
総合	【身近な昆虫の世界】昆虫調べ・観察 春7/7 夏9/29 秋10/15			【創作昆虫ワールド】 ～自由な昆虫の世界を守ろう～	
	ヤゴ救出 5/24	10h	★10/20	★11/25	★2/24
			ヤゴ誘い 雑草コンポスト 落葉入れ 修善他	★5/29	
図工		ポスター作り	釘の迷路	粘土で昆虫	
				1/13～	2/18
				創作活動 → 発表・発信	
					★ : 意識調査実施日

問題意識

- 自然体験活動に接続する形で**創作活動を入れるこ**とで、「環境学習の深まり(学習の質)」と「環境を守ろうとする子どもの**価値観**」の**深化**を追究する。

調査方法

① 創作活動における作品内容（工夫点）の分析

② 質問紙法による意識調査結果の分析

- ・農業公園での自然体験活動後
- ・環境整備活動後
- ・創作活動後
- ・単元終了後

③ 創作活動を通して行った発表内容の分析

連携した関係団体

足立区都市農業公園

<コンセプト>

- ・自然素材
- ・資源の循環

<キーワード>

- ・土と生き物の「わ」
- ・農業にとっての害虫も共存





都市農業公園の 環境教育のコンセプト

- 多種多様な生き物の生態
- 命のつながり
- 生息できる環境
- 人との共生・共存

活動の概要(その1・自然体験活動)

	主要内容
(1)	<p><u>都市農業公園での昆虫採集と観察活動【自然体験活動①】</u></p> <ul style="list-style-type: none">・春・夏・秋3回の体験活動 →出会った昆虫や水生動物は33種類・学校に戻って観察した昆虫調べ
(2)	<p><u>校内における昆虫の生息環境の整備【自然体験活動②】</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ヤゴ(トンボ) 産卵お誘い…10/10・11/24、プールに落葉を…11/4・12・カブトムシ 落葉だめ作り…11/12、落葉だめの切り返し…12/3・コオロギ・クモ 雑草コンポスト作り…10/28・11/4、冬越昆虫を調べ…3/3

(1) 都市農業公園での 自然体験活動

多様な生物との出会い 33種

【春】 ヤゴ・オタマジャクシ・アカムシ
タニシ・アメリカザリガニ
ゲンゴロウ・モンシロチョウ
オオカマキリ・オンブバッタ 他

【夏】 アキアカネ・ギンヤンマ
ヒシバッタ・イボバッタ 他

【秋】 モンキチョウ・コバネイナゴ
エンマゴオロギ・ナナホシテントウ
ナガコガネグモ 他

学校での学習

- ①食べ物
- ②すみか
- ③天敵
- ④行動





(2) 環境整備に 関わる体験活動

コオロギ来るかな：雑草コンポスト
ヤゴよ元気に育て：落葉入れ

活動の概要(その2・・創作活動)

	主な内容
(3)	<u>創作活動へ向けた事前指導</u> <ul style="list-style-type: none">・粘土で昆虫づくり…昆虫はみな平面だった →粘土から新聞紙に変更
(4)	<u>「ようこそ!昆虫ワールドへ」の取り組みと「学習発表会」</u> <ul style="list-style-type: none">・発表したい昆虫を選択→グループ・子どもに考えさせたこと<ul style="list-style-type: none">①どんな環境、②どんな場面、③どんな内容・発表内容<ul style="list-style-type: none">①体のつくり、②特徴、③食べ物とすみか、④卵～成虫、⑤天敵、⑥ありのままの世界・共生、⑦学んだこと



ゲンゴロウ



ダンゴムシ



トノサマバッタ

天敵
カラス



畑を舞う
モンシロチョウ



キャベツの葉
には卵

腐葉土や丸太、石
を入れて森を表現



子どもたちが
創作した
昆虫ワールド

カマキリ
の卵



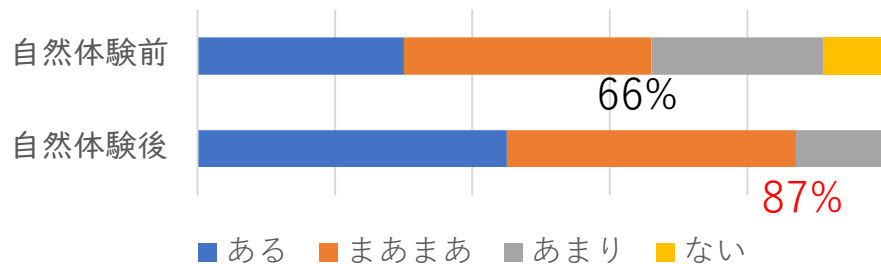
チョウをねらう
カマキリ

質問紙による意識調査の内容(抜粋)

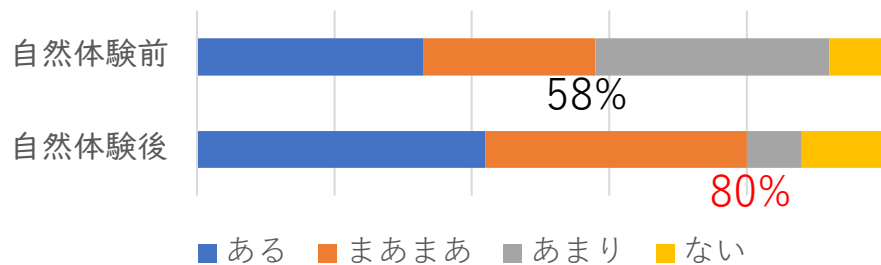
自然体験活動前後	環境整備後	創作活動後	単元学習終了後
① 知識は増えたか	① 活動の楽しさ	① 学んだことは	① 昆虫の親しみ/触ること ・公園活動前 ・公園活動後
② 身近に感じるか	② 活度目的は ・雑草コンポスト ・ヤゴお迎え ・落葉入れ	② 昆虫の世界とは	② 創作活動でついた力
③ 触れ合えたか	③ 活動をまたやりたいか	③ 環境保全に必要なことは	③ 新聞紙の良さ
④ 農業公園・学校で印象に残った事	④ その理由は	④ 自然環境を守る大切さは分かったか	④ 創作活動で学んだこと
⑤ 学んだことは		⑤ 学習発表会で、相手に伝わったか	⑤ 昆虫への思いの変化

農業公園での自然体験活動をした前後の意識変化

昆虫への親しみの変化



昆虫に触れるようになった



○昆虫への親近感

自然体験活動で学んだことは

生物の生態	学ぶ楽しさ	愛着心	命の大切さ
40%	10%	15%	35%
知識・理解	感性に関するもの：60%		

- 「感性」の育成
- 「命の大切さ」への芽生え
- ×「環境」の視点
- ×「共生・共存」の視点

環境整備に関する体験活動をした後の意識調査

活動目的は理解しているか



環境整備活動は楽しかったか



これらの活動を続けたいか



○環境保全への行動意欲

環境整備活動で何を学んだか (複数回答)

意識調査に 書き込んだ語句	農業公園での 活動直後	環境整備活動 直後	
「命の大切さ」の 意識	35%	12%	合計72%
「育てる」「迎える」 「元気にする」	0%	60%	…生育で きる場所
「自然・環境の大 切さ」の意識	0%	32%	

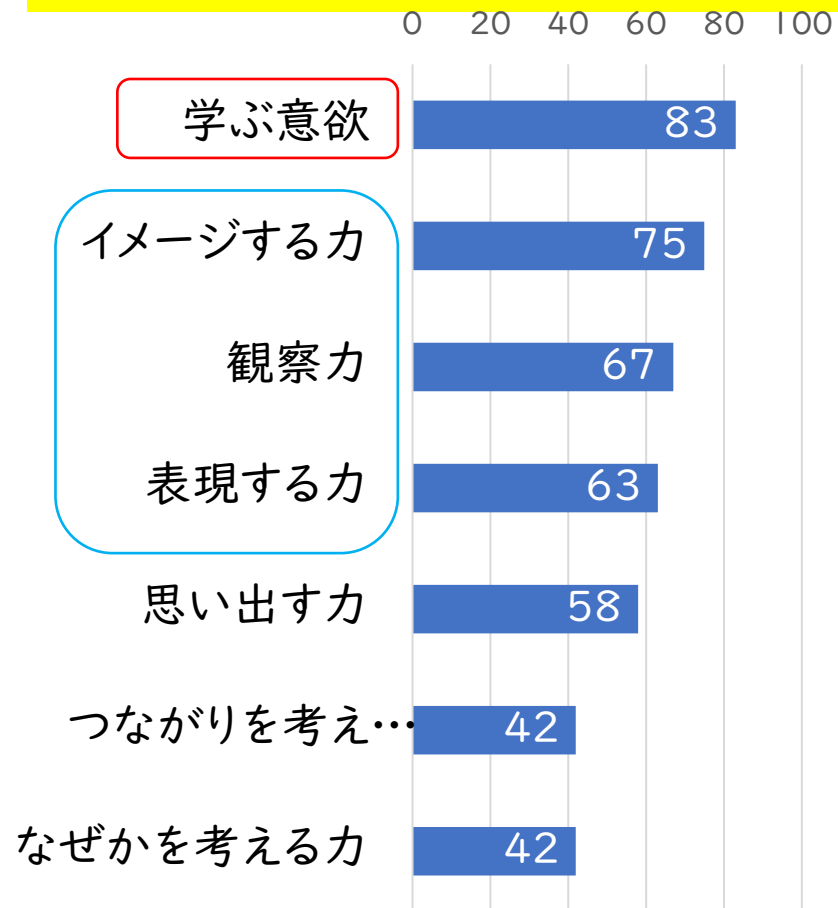
「昆虫の命」 → 「自然・環境」へ

○「共生」への意識

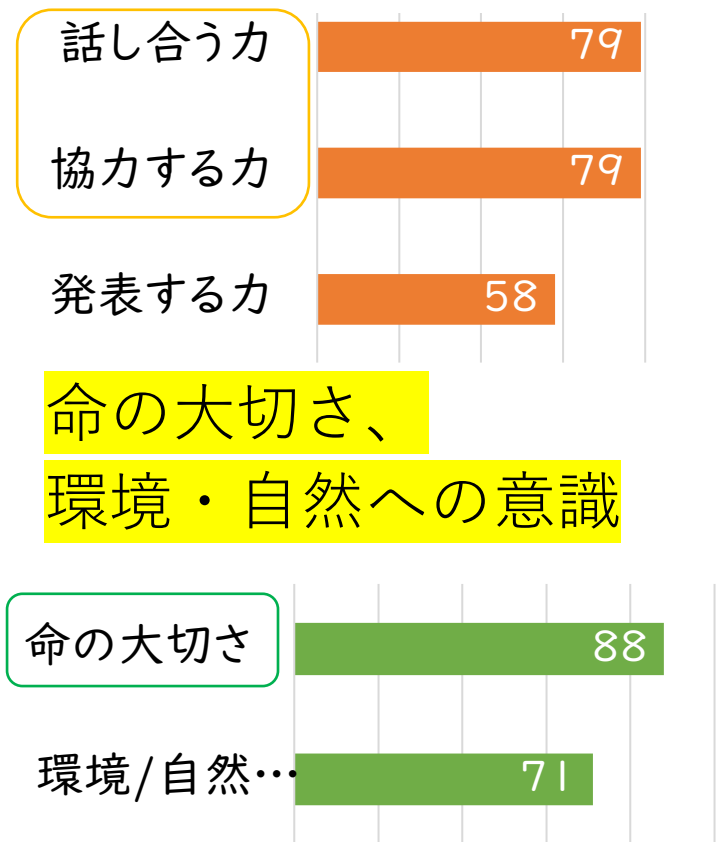
○「環境」への芽生え

創作活動によって高められた力(実施効果)への認識

創作活動そのものによる効果

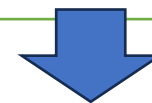


グループ学習による効果



- 「学ぶ意欲」
- 「思考力」
- 「話し合う力」
- 「協力する力」

創作活動



さらに高まる

- 「命の大切さ」
- 「環境・自然」

創作活動を通して高められた自然環境への思い

「命の大切さ」「自然の大切さ」の深まり (複数回答)

意識調査に書き込んだ語句から	農業公園の活動後	環境整備活動直後	創作活動直後
「命の大切さ」	35%	→	88%*
「生育できる」	0%	60%	—
「自然・環境」	0% →	32% →	71%*

* 創作活動で高まった力の調査より

「命の大切さ」「自然・環境を守る」思いは徐々に高まり、創作活動を通してさらに強まっている。

自然体験活動

自然と触れ合う体験

環境整備の体験(行動)

学びの統合
創作活動

創作活動を通して高められた自然環境への思い

○ありのままですらられる世界は

カブトムシが**幸せになる森**が必要。

○人と仲良くするには

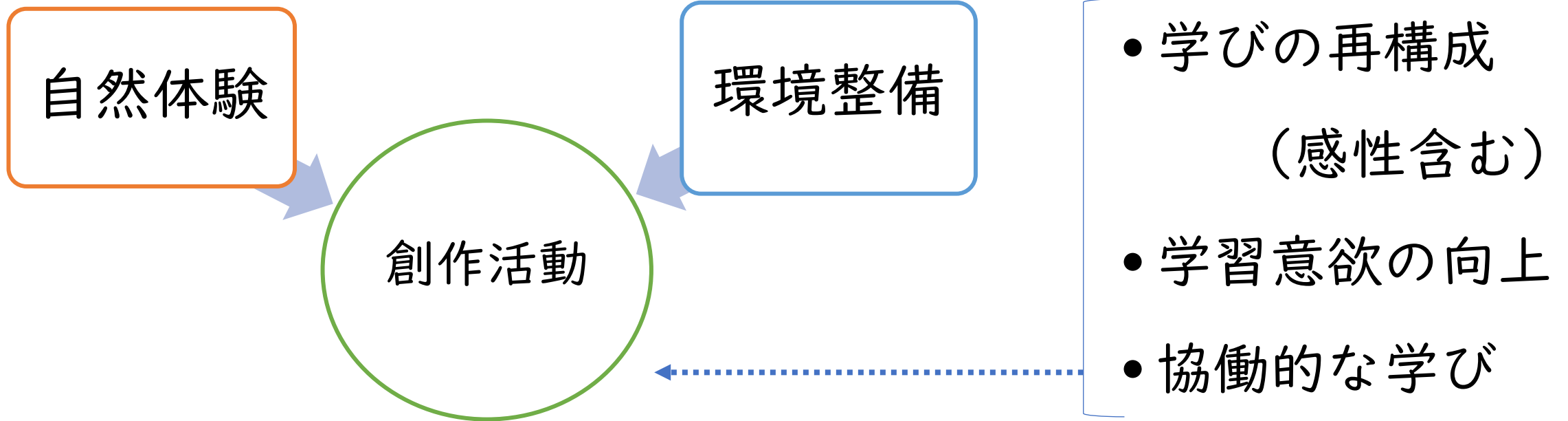
畑に**幼虫を飼うスペース**を作り、**農薬**は使わないで

○この学習で学んだことは

- ・昆虫たちが**自分たち人間のせい**で死んでしまうのは、可愛そう
- ・学んだことは、昆虫の**自由気ままな大自然**を守るために、**いろいろ努力**すること



本研究の考察



< 創作活動を組み合わせたことによる効果 >

自然や環境についての認識が深まることで子どもたちの**価値観の**
変容を促進し、環境を守ろうとする**意識(行動意欲)**を強くする。

<提 案>

従来行われてきた自然体験活動に加え、環境整備におけた体験

+創作活動をセットにしたESDカリキュラムを作成し、実践に活かす。

<課 題>

- ◆ 記録と評価方法の工夫（相互評価や意識調査）
- ◆ 継続的な「行動」につなげる工夫
- ◆ 効果的な自然体験活動の検討（内容・方法・頻度）
- ◆ STEAM教育の文献レビューの調査

ようこそ! 昆虫ワールドへ

創作活動との接続による
環境学習

ありがとうございました

足立区立北鹿浜小学校
前副校長 新井雅晶

